



第71期 中間報告書

平成29年4月1日～平成29年9月30日



HRS HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.

ヒロセ電機株式会社



代表取締役社長
石井和徳

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

第71期中間期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の事業の概況をお届けし、ご報告申し上げます。

営業の概況

当中間期におけるわが国経済は、雇用環境の改善、輸出増や堅調な設備投資等により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

また、海外におきましても、欧米経済および中国経済は引き続き堅調に推移しているものの、地政学リスクによる警戒感により、依然先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと当社グループは、主にスマートフォン市場向け、自動車市場向けおよび産業用機器市場向けのグローバル事業拡大を進めるとともに高度化する市場ニーズへのさらなる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売・生産体制の強化を推進してまいりました。

その結果、当中間期の連結売上高は619億78百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は151億43百万円（同6.0%増）、経常利益は157億70百万円（同9.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は109億15百万円（同7.7%増）となりました。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、米国や中国を中心に海外経済の堅調が見込まれるなか、国内需要

も雇用環境の改善、輸出増や堅調な設備投資等を背景に底堅く推移するとみられることから、景気回復基調が続くと見込まれます。しかし、依然として地政学リスクによる警戒感により、予断を許さない状況は継続していくと思われまます。

当社グループといたしましては、カーエレクトロニクスのさらなる進展に伴う自動車分野での成長および産業用機器・通信用機器分野での拡大並びに低価格志向によりさらなる価格競争が予想されるスマートフォン、タブレットPC向け等の大量品ビジネスの維持・拡大が見込まれます。

このような環境のなかで当社グループは、常に最先端の技術を追求し、より効率的な資源の配分と集中化を図り、弛まぬ改善・革新に取り組み、市場ニーズに対応した高付加価値新製品の開発力強化、生産効率化の促進、品質のさらなる向上などコスト競争力を高めるとともに、生産拠点のリスク分散化および今後のビジネスの成

長・拡大を目指したグローバル化の推進、国内外における販路の開拓等に努め、利益ある成長を目指して経営基盤の強化を図り、企業価値増大に取り組んでまいりる所存であります。

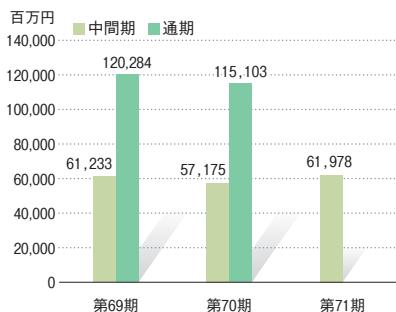
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月

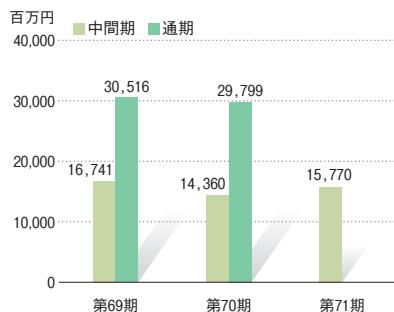
代表取締役社長 石井和徳

業績ハイライト

売上高



経常利益

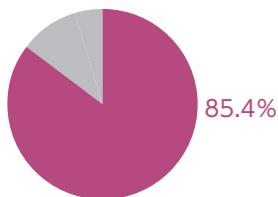


親会社株主に帰属する当期純利益

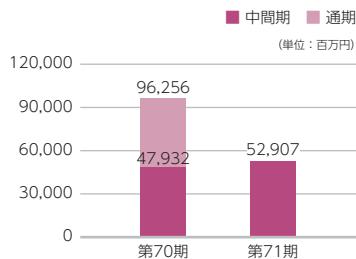


多極コネクタ

売上比率



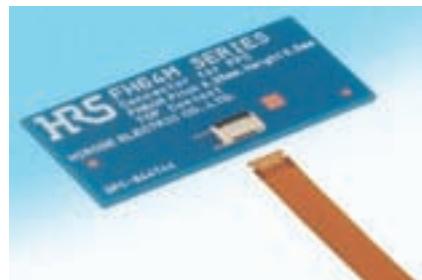
売上高



当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC（フレキシブル基板）用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

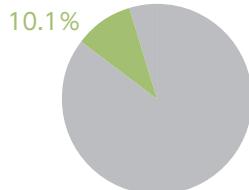
主としてスマートフォン、タブレットPC、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器および医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後のさらなる高度情報通信ネットワーク化社会および環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当中間期は、産業用機器市場向けビジネスや民生用機器向けビジネスの受注・売上が堅調に推移したため、連結売上高は529億7百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益は140億3百万円（前年同期比5.0%増）となりました。



同軸コネクタ

売上比率



同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、またはスマートフォンおよび伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当中間期の連結売上高は62億81百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は10億54百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

売上高

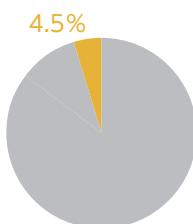


その他の製品

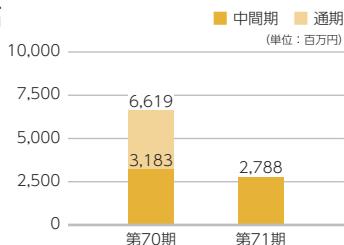
以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療機器、マイクロスイッチ類およびコネクタ用治工具類を一括しております。

当中間期の連結売上高は27億88百万円（前年同期比12.4%減）、営業利益は85百万円（前年同期 11百万円の営業損失）となりました。

売上比率



売上高



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前 期
	(平成29年9月30日現在)	(平成29年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	257,131	252,709
固定資産	81,451	73,987
資産合計	338,582	326,696
負債の部		
流動負債	26,906	23,471
固定負債	7,403	6,931
負債合計	34,309	30,402
純資産の部		
株主資本	290,194	283,217
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	11,287	11,223
利益剰余金	328,233	321,493
自己株式	△58,729	△58,903
その他の包括利益累計額	13,764	12,721
新株予約権	313	354
純資産合計	304,272	296,293
負債および純資産合計	338,582	326,696

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)	(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)
売上高	61,978	57,175
売上原価	32,536	30,548
売上総利益	29,441	26,627
販売費および一般管理費	14,298	12,337
営業利益	15,143	14,289
経常利益	15,770	14,360
税金等調整前中間純利益	15,484	14,247
法人税等	4,568	4,116
親会社株主に帰属する中間純利益	10,915	10,130

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

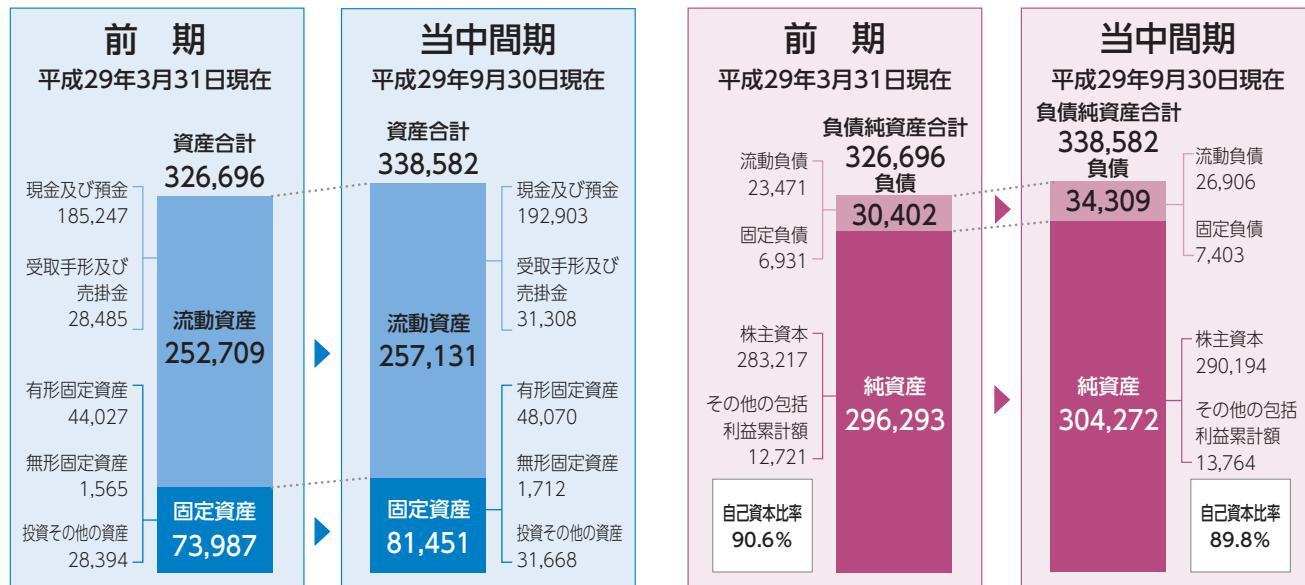
(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)	(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,363	13,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,548	△4,878
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,979	△4,186
現金および現金同等物の中間期末残高	75,561	76,909

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

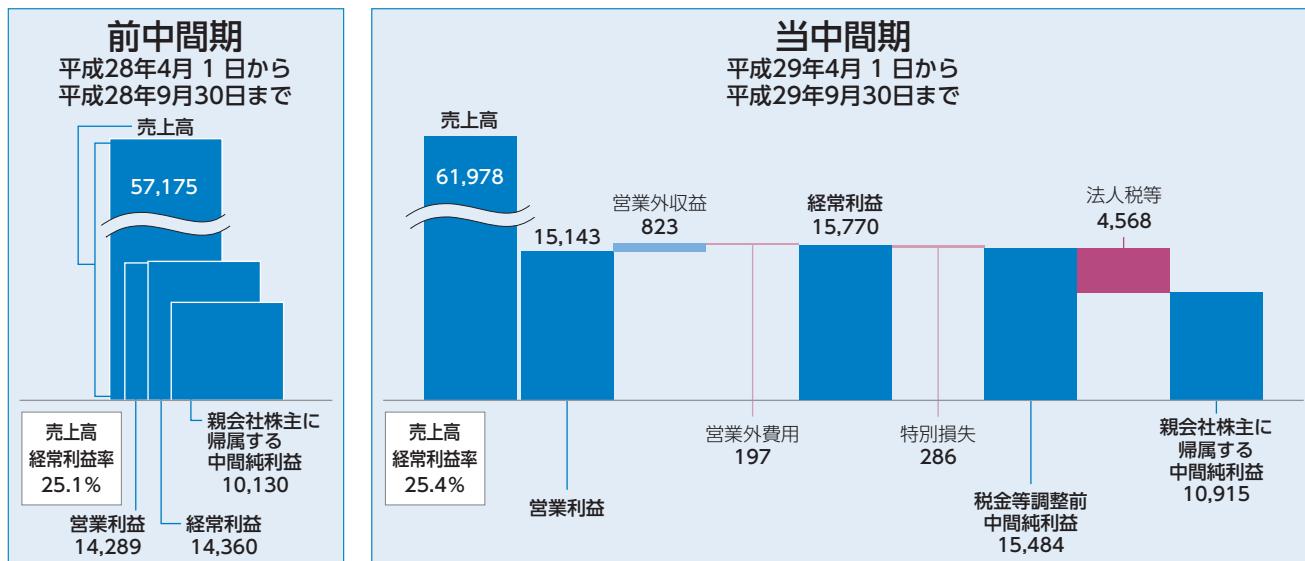
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



新製品の紹介

当社は毎年多くの新製品を市場へ供給いたしておりますが、その中から一部の製品シリーズについてご紹介いたします。

MF11Bシリーズ

2020年に開催される東京オリンピックに向けて、2018年に開始される8K本放送に採用が予定されている超高精細映像の放送機器向けに開発された多心光コネクタです。

本コネクタは、フルスペック8Kの信号に対応するため、従来の同軸BNCコネクタでは対応できない超高速伝送を可能にする高性能光コネクタで、その高い信頼性が評価され国際放送規格「ARIB STD-B5B」に採用されました。

今後、放送機器を中心に、医療機器など高精細映像と高信頼性が求められる映像関連機器に採用が広がる予定です。



FH63シリーズ

FH63シリーズは、ロボット組立に完全対応した、FPC/FFCを挿すだけで簡単に作業が完了する「ワンアクションロックコネクタ」です。従来までのFPC/FFCコネクタに必須だったアクチュエータ操作による嵌合作業を不要にしました。

作業効率の大幅な改善を実現するとともに、105℃での動作温度を保証、更に端子部を独立したバネによる2点接点構造とすることで、車載機器のような高い信頼性が求められるアプリケーションにも安心してご使用頂けるコネクタです。



IT9シリーズ

近年のクラウドネットワークの発展により、サーバー・ルーター・スイッチ・ストレージなどのデータセンター用の情報通信機器の技術革新が進み、特に機器内での信号数の増大、信号の高速化が進んでいます。このような技術トレンドに応えるため、省スペース実装および高速信号28Gbps（次世代サーバー用の規格であるPCIe-Gen4に対応）伝送が可能となる0.5mmピッチコネクタIT9シリーズを開発しました。



CX90B1シリーズ (Type-C)

次世代USB規格「USB Type-C™」に準拠したインターフェイスコネクタです。(USB認証番号を取得済)

本コネクタは、プラットフォーム化（共通化）により、部品の流用性を高めた当社独自の生産システムを採用することで、生産品質の安定化と多彩な製品バリエーション展開を少ない追加投資で実現しています。今後も、バチカル（垂直）接続タイプや市場要求の強い防水タイプ等にも力を入れることで、バリエーションを充実させ、様々なお客様のニーズに応じてまいります。



◎国内拠点

東北ヒロセ電機株式会社



一関ヒロセ電機株式会社



郡山ヒロセ電機株式会社



西日本営業所

関西支店

中部営業所

北関東営業所

本社



菊名事業所



横浜センター



◎海外拠点

ヒロセエレクトリックヨーロッパ



広瀬電機(蘇州)有限公司



博瀬電機貿易(上海)有限公司



ヒロセコリア



広瀬電機(東莞)有限公司



広瀬科技(深圳)有限公司



ヒロセエレクトリックUSA



ヒロセエレクトリックマレーシア



台廣電子股份有限公司



ヒロセエレクトリックシンガポール



ヒロセエレクトリックインドネシア



広瀬香港有限公司
広瀬電機香港貿易有限公司



会社の概況

会社概要 (平成 29 年 9 月 30 日現在)

商号 ヒロセ電機株式会社
 設立 昭和23年6月15日
 従業員 連結4,468名 (パートタイマーを除く)
 資本金 9,404,379,401円

取締役および監査役 (平成 29 年 9 月 30 日現在)

代表取締役社長	石井和徳
常務取締役	中村充男
常務取締役	近藤真
取締役	飯塚和幸
取締役	岡野広明
取締役	桐谷幸雄
社外取締役	堀田健介
社外取締役	元永徹司
常勤監査役	千葉良一
社外監査役	杉島光一
社外監査役	瀬下明
社外監査役	三浦健太郎

(注)

1. 取締役 堀田健介氏、同 元永徹司氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 杉島光一氏、同 瀬下明氏、同 三浦健太郎氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人 有限責任あす監査法人

株式の状況 (平成 29 年 9 月 30 日現在)

発行済株式総数 34,811,773株
 (自己株式5,208,963株を除く)
 株主数 3,599名

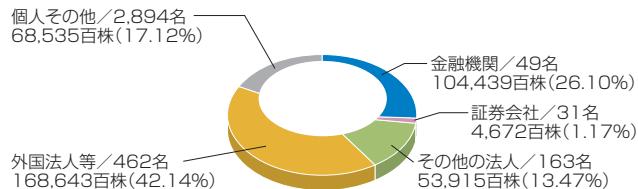
大株主 (上位 10 名)

株主名	持株数
ジェービー モルガン チェース バンク 380072	35,633 百株
公益財団法人ヒロセ国際奨学財団	29,977
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー505223	27,081
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	19,142
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	12,817
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	12,112
有限会社エイチエス企画	11,633
みずほ信託銀行株式会社信託口0700046	8,292
みずほ信託銀行株式会社信託口0700047	8,240
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	6,099

(注) 上記大株主10名のほか、当社が自己株式52,089百株を保有しております。

株式分布

株式の所有者別状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
(そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<<https://www.hirose.com/jp/ir/>>
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

インターネットホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



ホームページ

<https://www.hirose.com/jp/>

